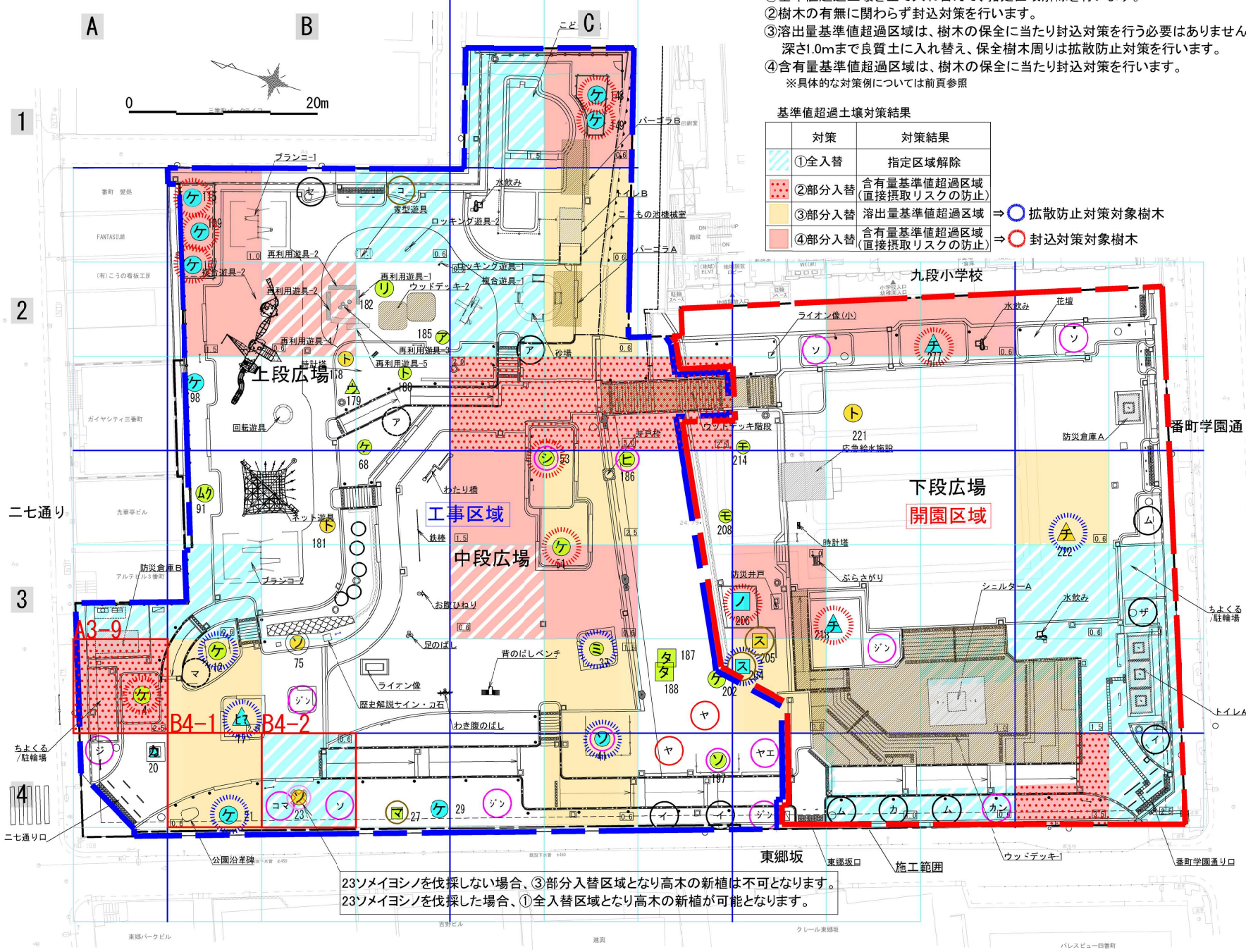


東郷元帥記念公園土壌対策平面図 (S=1:400)



土壌対策は樹木の取扱いや対策深度によって変わります。
①基準値超過土壌を全て入れ替えて、指定区域解除を行います。
②樹木の有無に関わらず封込対策を行います。
③溶出量基準値超過区域は、樹木の保全に当たり封込対策を行う必要はありませんが、公園工事のために深さ1.0mまで良質土に入れ替え、保全樹木周りは拡散防止対策を行います。
④含有量基準値超過区域は、樹木の保全に当たり封込対策を行います。
※具体的な対策例については前頁参照

基準値超過土壌対策結果

対策	対策結果
①全入替	指定区域解除
②部分入替	含有量基準値超過区域 (直接摂取リスクの防止)
③部分入替	溶出量基準値超過区域 (直接摂取リスクの防止)
④部分入替	含有量基準値超過区域 (直接摂取リスクの防止)

⇒ 拡散防止対策対象樹木
⇒ 封込対策対象樹木

■ 保存樹木の評価

評価項目	記号
健全か健全に近い	A
注意すべき被害	B1
著しい被害	B2
簡易診断時に健全樹木 (調査対象外)	

※ 樹種:

- △ 針葉樹、□ 常緑樹、○ 落葉樹、● 落葉樹

※ 樹木目通周:
● 100cm未満、● 100cm以上

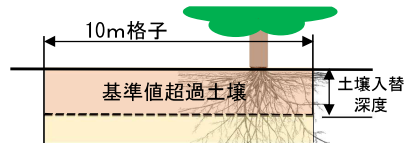
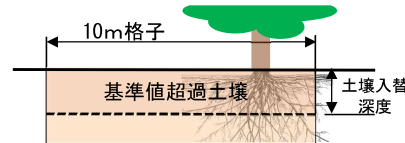
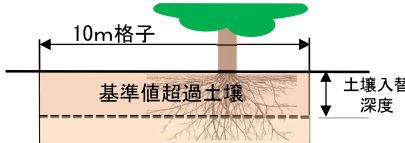
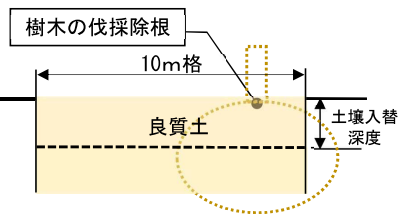
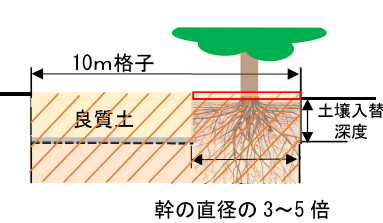
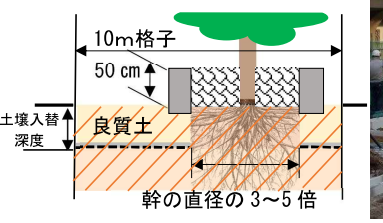
高木 (保全使用)	記号	名 称
ア	アオギリ	
チ	イチヨウ	
カ	カスノキ	
ウ	ウラボシ	
ク	クスノキ	
ケ	ケヤキ	
シ	シダザサ	
ス	スズナギ	
ソ	ソメイヨシノ	
タ	タブノキ	
ト	トウカエデ	
ヒ	ヒガンザサ	
ハ	ハマヤスギ	
マ	マテバシイ	
ク	クノキ	
モ	モクレン	
ミ	ミモジ	
リ	ユリノキ	

- 新植樹木
- 移植樹木
- 保存樹木
- サクラ類
- 実のなる木
- ドングリのなる木

高木（新植）			形状・寸法		
記号	名 称	形状・寸法			
		H	C	V	
ム	ムサシノケヤキ	5.0	0.25	2.0	
ソ	ソメイヨシノ	4.5	0.25	2.0	
ジ	ジュウガツザカラ	4.0	0.21		
カ	カツラ	3.5	0.18	1.0	
イ	イロハモミジ	3.0	0.15	1.0	
サ	サルスベリ	3.0	0.15	1.0	
コ	コナラ	3.0	0.12	0.3	
ザ	カンザン	4.0	0.21		
カン	カンヒザクラ	3.5	0.21	1.3	
ジン	ジンダイアケボノ	4.0	0.21	1.5	
ヤエ	ヤエベニシダレ	4.0	0.21		
セ	キンモクセイ	1.8		0.5	
ヤ	ヤマモモ	2.0		0.5	
ア	アオギリ	2.0		0.5	
コマ	コマツオトメ	4.0			

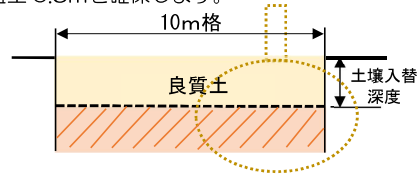
23ソメイヨシノを伐採しない場合、③部分入替区域となり高木の移植は不可となります。
23ソメイヨシノを伐採した場合、①全入替区域となり高木の移植が可能となります。

基準値超過土壌区域における保全樹木の取扱いと土壌対策方法一覧

樹木の取扱い	伐 採	保 全	
対 策	①全入替実施可能区域	③部分入替実施区域	④部分入替実施区域
指定状況	含有量及び溶出量基準値超過区域	溶出量基準値超過区域	含有量基準値超過区域
対策深度	0.6m～1.5m	全深度	全深度
対策前の状況			
対策例	●樹木を伐採及び伐根し、基準値超過土壌を全て入れ替えます。 入替：樹木の伐採、伐根 	●公園工事のために、幹の直径3～5倍の範囲以外の基準値超過土壌を入れ替えます。 ●保全樹木周りの封込対策を行う必要はありません。 拡散防止対策：客土等による覆土  	●保全樹木周りの土壌は直接触れないようにするため、封込対策を行います。樹木の生育を考慮し、砕石による封込を選定しました。 封込：砕石 50 cm  
対策結果	指定区域解除	溶出量基準値超過区域	含有量基準値超過区域

②部分入替実施区域

対策深度が深い（概ね 1.5m 以上）場合は、深さ 1m 程度まで「きれいな土」に入替えることにより、封込に必要な盛土 0.5m を確保します。



この場合は、基準値超過土壌が区域内に残るので、対策③もしくは対策④と同じく指定区域が解除されないで、右のようなリスクがあります。ただし入替えた良質土については、認定申請を行うことにより、良質土として取扱いが可能となるため、高木の移植等が可能となります。

基準値超過区域内の将来のリスクについて

基準値超過区域内の土壌の移動をする際は、将来にわたり事前の届出と土壌対策等が必要になります。そのため、下記のリスクがあります。

リスク1 遊具の更新等公園改修工事の際には**土壌対策のために公園を閉鎖する必要があります**。

リスク2 樹木が枯れてしまった場合

方法① 樹木の地上部分のみを伐採する。

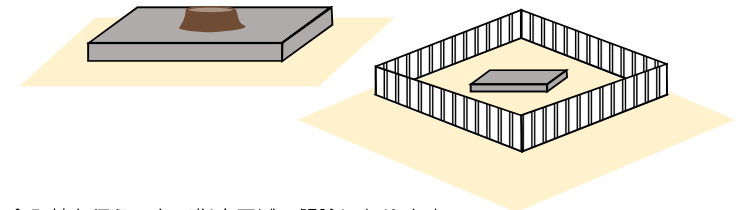
良い点 : ・長期的な公園の封鎖の必要はありません。

懸念事項 : ・**立ち上がった構造物と切り株**が残ります。

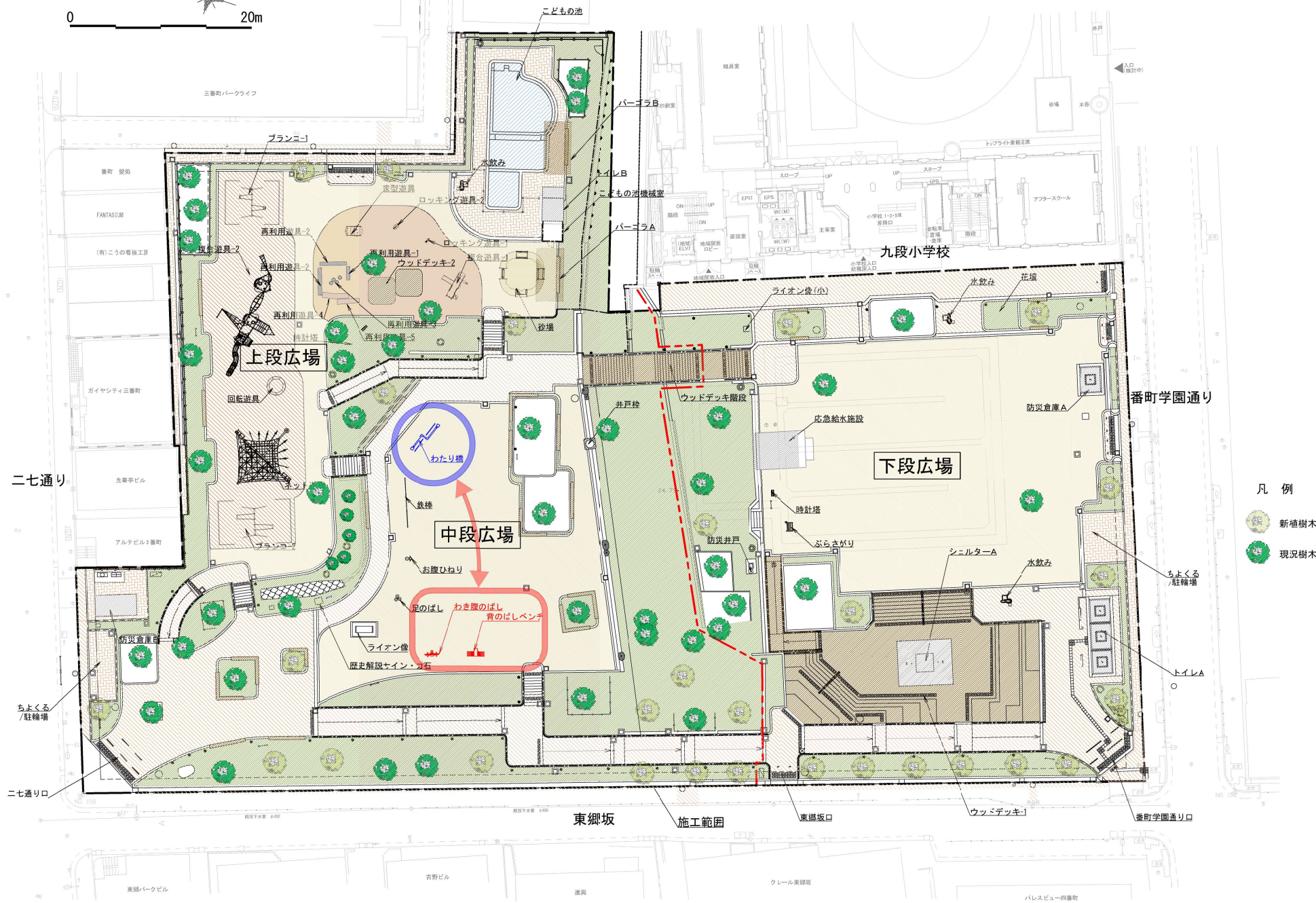
方法② 樹木の伐採及び伐根をし、樹木の更新を行う。

良い点 : ・樹木を新しく植え替えます。場合によっては土壌の全入替を行うことで指定区域の解除になります。

懸念事項 : ・伐根や新植、構造物の撤去・新設は、土壌の移動を伴う工事となるため、**土壌対策のために公園を閉鎖する必要があります**。



全体計画平面図

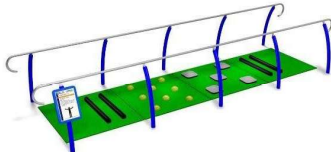
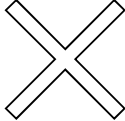


第9回協議会資料（抜粋）

別紙資料6

健康遊具の更新計画（案）

・施設の種類が同じものを廃止、運動の種類や効果が類似のものは、公園の遊具としての利用状況（子どもの遊びの多様性）を考慮し選択。9種10基から6種6基に削減。

① あしのばし	② お腹ひねり	③ でこぼこ道	④ わたり橋	⑤ わき腹のばし
ウォームアップ系 足のストレッチ	パワートレーニング系 腰の柔軟性	クールダウン系 全身のバランス向上	ウォームアップ系 歩行とバランスの向上	パワートレーニング系 上半身、横方向の運動
				
				
同等機能（改訂版施設）で更新	類似機能（改訂版施設）で更新	廃止	同じ施設で更新	同じ施設で更新
⑥ 背のばしベンチ	⑦ ふみ台わたり	⑧ 上体ひねり	⑨ ぶらさがり	⑩ 背のばしベンチ
ウォームアップ系 背中ストレッチ（リラックス）		ウォームアップ系 上半身のストレッチ	ウォームアップ系 肩のストレッチ	ウォームアップ系 背中ストレッチ（リラックス）
				
				
同じ施設で更新	廃止	廃止	同じ施設で更新	廃止